

# なら結婚応援アクションプラン

平成29年9月

奈良県

# 目 次

- 1 プラン策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 奈良県と全国の結婚に関する状況・・・・・・・・ 2
- 3 これまでの結婚応援に関する取り組み・・・・ 6
- 4 結婚応援施策の基本的な考え方・・・・・・・・ 8
- 5 具体的なアクション・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - I 「結婚応援ネットワーク」づくり
  - II 「結婚応援フィールド」づくり
  - III 「結婚応援マインド」づくり
- 6 目標指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

## 1 プラン策定の趣旨

県では、少子化を改善するため、結婚や子育てに関する希望を阻んでいる要因を取り除くための対策を講じていくことを県政の最重要課題と位置づけています。

県は平成27年3月に「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」（計画期間平成27年度～31年度。以下「計画」という。）を策定し、結婚をみんなで支える社会づくり、結婚の希望の実現に向けた施策を展開しています。

しかし、県の合計特殊出生率（平成28年）は1.36で10年前と比較して改善してきているものの、全国第41位と低位な状況で、また、少子化の大きな要因とされる未婚率の上昇も続いている状況です。

「なら結婚応援アクションプラン」は、こうした状況の改善を図り、「計画」において目指している「結婚応援の気運醸成」「地域における結婚支援活動の推進」の実効性を高めるため、県が実施・支援する取り組み（平成29年度～31年度）を具体的に定めるものです。

### 〈参考1〉

平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の中で、結婚支援の充実が位置づけられ、その具体的な施策として、「地域の結婚支援を強化するため、地方自治体の取組に加え、経済団体、NPO、専門家等と連携した地域の総合的な結婚支援の先進的モデルを創出する」ことが盛り込まれました。

### 〈参考2〉

平成28年の全国の出生数は976,979人で100万人を割り込みました。奈良県でも平成28年の出生数は9,430人と前年比4.1%の減少となりました※。

いずれも戦後最低の数値となっており、持続可能な社会保障制度の構築、労働力の確保の観点などから、引き続き少子化対策の充実が求められています。

※平成28年人口動態統計

## 2 奈良県と全国の結婚に関する状況

- ・奈良県の若者世代の未婚率（25歳～39歳）は全国的にみて、高い水準にある。
- ・奈良県の平均初婚年齢は全国的にみて、高い水準にある。
- ・「いずれ結婚するつもり」の方は、依然として多く存在する（但し、奈良県は全国より少ない状態にある）。
- ・「独身でいる理由」は「適当な相手にめぐりあわない」が多く、「結婚の障害になる具体的な内容」は結婚資金や職業・仕事上の問題が多い。

### (1) 未婚率

生涯未婚率（50歳時未婚割合）は男性・女性ともに奈良県は全国より低い値となっています。

男性 （全国）20.14% （奈良県）14.08% 全国47位

女性 （全国）10.61% （奈良県）8.61% 全国30位

国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2016」

しかし、25歳から39歳の未婚率は、男性・女性ともに奈良県は全国より高い値となっており、全国順位も比較的高い状態となっています。

男性 （全国）49.9% （奈良県）50.1% 全国13位

女性 （全国）38.2% （奈良県）41.4% 全国3位

総務省「H27国勢調査」

若者の未婚率が高いことは、県の少子化の大きな要因と考えられます。平成28年の奈良県の合計特殊出生率は1.36で全国41位となっています。

また、県内の市町村別未婚率（25～39歳男女）は高い順に、上北山村（80.3%）、野迫川村（68.4%）、御杖村（65.5%）となっており、低い順では、香芝市（33.7%）、葛城市（37.8%）、広陵町（39.6%）となっています。

本県の特徴としては、県南部東部地域での未婚率が高く、北部地方では未婚率が低くなっており、地域によって未婚・晩婚化の状況が異なっていることがわかります。各市町村別の未婚率は次の表のとおりです。

## 市町村別未婚率(25～39歳)

出典: H27 国勢調査

市町村名	未婚率(%) ※不詳は除いて算出					
	総数	順位	男	順位	女	順位
0 奈良県	45.6%	—	50.1%	—	41.4%	—
1 奈良市	47.2%	26	50.9%	29	43.9%	21
2 大和高田市	50.9%	21	55.9%	24	46.1%	17
3 大和郡山市	47.3%	25	52.7%	27	42.1%	24
4 天理市	48.2%	24	54.1%	26	42.5%	23
5 橿原市	44.0%	31	48.7%	32	39.6%	27
6 桜井市	44.3%	30	49.0%	30	39.9%	26
7 五條市	54.2%	15	60.7%	13	47.4%	15
8 御所市	55.6%	10	63.0%	10	48.0%	13
9 生駒市	41.4%	34	44.9%	34	38.4%	30
10 香芝市	33.7%	39	36.8%	39	30.9%	38
11 葛城市	37.8%	38	41.9%	38	34.2%	36
12 宇陀市	54.9%	12	59.4%	16	50.4%	10
13 山添村	56.8%	9	65.8%	6	45.8%	18
14 平群町	50.8%	22	56.4%	22	45.7%	19
15 三郷町	42.4%	33	46.0%	33	39.1%	28
16 斑鳩町	40.8%	35	44.6%	35	37.3%	33
17 安堵町	54.2%	14	60.2%	14	47.4%	14
18 川西町	45.4%	28	51.9%	28	38.9%	29
19 三宅町	54.5%	13	61.8%	11	47.0%	16
20 田原本町	43.5%	32	48.9%	31	38.2%	31
21 曾爾村	54.9%	11	54.7%	25	55.2%	6
22 御杖村	65.5%	3	71.9%	3	59.7%	2
23 高取町	52.8%	17	59.4%	17	45.5%	20
24 明日香村	57.7%	8	63.8%	9	51.8%	9
25 上牧町	53.3%	16	57.9%	19	49.4%	11
26 王寺町	40.1%	36	42.5%	37	37.8%	32
27 広陵町	39.6%	37	43.1%	36	36.5%	34
28 河合町	51.9%	18	56.3%	23	48.1%	12
29 吉野町	62.3%	4	67.1%	5	57.6%	4
30 大淀町	49.8%	23	56.9%	20	42.7%	22
31 下市町	59.6%	6	64.0%	8	55.6%	5
32 黒滝村	51.9%	19	60.0%	15	41.7%	25
33 天川村	51.8%	20	65.1%	7	34.7%	35
34 野迫川村	68.4%	2	77.1%	2	54.5%	8
35 十津川村	46.9%	27	56.8%	21	31.3%	37
36 下北山村	44.7%	29	58.7%	18	23.3%	39
37 上北山村	80.3%	1	82.9%	1	75.0%	1
38 川上村	59.5%	7	61.0%	12	58.1%	3
39 東吉野村	62.3%	5	69.1%	4	54.8%	7

## (2) 婚姻率

婚姻率（人口千対）も奈良県は全国に比べて低く（平成28年は40位）、下降傾向にあります。

## 婚姻率（人口千対）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	5.2	5.3	5.3	5.1	5.1	5.0
奈良県	4.5	4.5	4.5	4.4	4.2	4.2

厚生労働省「人口動態統計」

### (3) 晩婚化

奈良県の男性・女性の平均初婚年齢は全国とほぼ同じ値ですが、平成 28 年の全国順位では男性 8 位、女性 7 位で全国よりも晩婚化の傾向が強い状況です。晩婚化は、晩産化にもつながる現象です。

#### 平均初婚年齢

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全 国 (男)	30.7	30.9	30.9	31.1	31.1	31.1
奈良県 (男)	30.7	30.8	30.8	31.0	31.0	31.1
全 国 (女)	29.0	29.3	29.3	29.4	29.4	29.4
奈良県 (女)	29.0	29.3	29.3	29.4	29.4	29.5

厚生労働省「人口動態統計」

### (4) 結婚や恋愛に関する意識

平成 25 年に本県で実施した子育て実態調査の結果から分析すると、全国に比べ、①結婚・子育てに対する価値観が相対的に低いこと、②若者の結婚意欲が低いこと等が、独身者の結婚の壁の一つになっていると思われま

具体的には、「生涯を独身で過ごすのは、望ましい生き方ではない」と思わない人（独身に肯定的な考えの人）の割合が 30.3%（H20:16.6% 前回調査より 13.7%増）、「結婚したら、子どもは持つべきだと思わない人」（子どもを持たないことに肯定的な考えの人）の割合が 24.1%（H20:14.9% 前回調査より 9.2%増）で、それぞれ平成 20 年の調査より増加しています。

また、「いずれ結婚するつもり」の独身男性（20 歳～39 歳）が 67.1%（H20:83.7% 前回調査より 16.6%減）、「いずれ結婚するつもり」の独身女性（20 歳～39 歳）が 72.9%（H20:83.2% 前回調査より 10.3%減）となっており、平成 20 年の調査より大きく減少しています。

「結婚希望年齢」も男性（25 歳～29 歳）31.9 歳（H20:30.4 歳 前回調査より 1.5 歳上昇）、女性（25 歳～29 歳）30.6 歳（H20:29.3 歳 前回調査より 1.3 歳上昇）となっており、いずれも平成 20 年の調査より上昇しています。

一方、全国調査である第 15 回出生動向基本調査（2015 国立社会保障・人口問題研究所）では、①いずれは結婚しようとする未婚者の割合は依然として

高い水準にあること、②一方、異性の交際相手を持たない未婚者が増加していることなどがわかっています。

具体的には、「いずれ結婚するつもり」の独身男性（18歳～34歳）が85.7%（H22:86.3% 前回調査より0.6%減）、「いずれ結婚するつもり」の独身女性（18歳～34歳）が89.3%（H22:89.4% 前回調査より0.1%減）となっており、平成22年の調査と比べて大きな変動はなく、高い水準にあります。この点は、前述の県子育て実態調査の結果との乖離がみられるところです。

また、「異性の交際相手を持たない未婚男性」（18歳～34歳）が69.8%（H22:61.4% 前回調査より8.4%増）、「異性の交際相手を持たない未婚女性」（18歳～34歳）が59.1%（H22:49.5% 前回調査より9.6%増）となっており、いずれも平成22年の調査と比べて大きく増加しています。

全国、奈良県ともに現在独身でいる理由については、「結婚をする必要性をまだ感じない」、「適当な相手にまだめぐりあわない」と回答する方が多くなっています。

また、「結婚の障害になる具体的な内容」で最も多い回答は、奈良県では、男性が「結婚資金」、女性が「職業や仕事上の問題」となっており、全国では、男女ともに「結婚資金」となっています。

（平成25年度子育て実態調査（奈良県）、平成27年出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）より）

〈参考〉

近年の未婚化の理由は①経済的な不安、②出会いの減少、③恋愛へのあこがれ消失であるという有識者の見解もあります（以下有識者の見解）。

- ①経済的な不安については、若者（特に男性）の経済力低下があり、男性が経済的に扶養するものという意識が未だ強く、女性が結婚相手に求める年収も現実とはかけ離れたものとなっていることがあげられる。男性・女性ともに親と同居していつまでも待てる環境も未婚化に拍車をかけている。
- ②出会いの減少については、正社員の長時間労働や非正規化によって、職場などでの現実に自然な出会いが減少している事実があり、また、シャイで恋愛に消極的な若者も増えている。
- ③恋愛へのあこがれ消失については、恋愛（結婚）に楽しいモデルがないという意識と恋愛がコストになるという意識がある。

〈平成 28 年 4 月 19 日 内閣府主催「結婚応援のための全国フォーラム」基調講演  
「未婚化の背後にあるもの」（山田昌弘中央大学教授）より〉

### 3 これまでの結婚応援に関する取り組み

- ・県内においては、様々な主体（県、市町村、民間団体等）による出会いの場の提供や結婚を応援する人材の養成などが行われており、地域で結婚を応援する気運が盛り上がってきている。
- ・こうした気運をより一層盛り上げていく必要がある。

#### (1) 奈良県の取り組み

奈良県では、結婚を希望される方に出会いの場を提供する「なら結婚応援団」事業を実施しています。

これは、結婚の意思はあるが出会いの機会が少ないという独身の方を対象に、

出会いの場となるイベントを実施する企業・店舗・NPO等を募り、「なら結婚応援団」団員として登録し、そのイベント情報をホームページ・メールマガジン等により配信する事業です。

「なら結婚応援団員」の活動を充実させるため、団員同士の意見交換会等も開催しています。平成29年7月末現在で44団体が登録しており、平成28年度は148回のイベントを実施しました。

また、市町村や民間団体との連携体制の構築や独身者向け結婚応援セミナーの開催などにも取り組んできました。

## **(2) 市町村の取り組み**

市町村では、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、平成27年度には、平群町が「2016 恋まち・育まち・へぐりっち恋愛子育て支援宣言事業（結婚応援編）」として、結婚適齢期の住民を対象とした結婚恋愛に関する支援を中心とする講座や個別カウンセリングを実施しました。

また平成28年度には、上牧町が「上牧町出会い・結婚・子育て応援事業」として、マリッジサポーターの育成及びマリッジサポーターを活用したイベントの開催に取り組みました。さらに平成29年度には橿原市がマリッジサポーターの育成に取り組んでいます。

他に市町村独自の婚活イベントの実施や社会福祉協議会主体の結婚応援の取り組みなどが行われています。

## **(3) 他民間団体等の取り組み**

また、県内の経済・労働関係団体や地域づくり関係団体等において、独自の婚活イベントなどが実施されています。

## 4 結婚応援施策の基本的な考え方

- ・「計画」における施策方向である「結婚応援の気運醸成」及び「地域における結婚支援活動の推進」のため、県は市町村や企業・団体等県内の様々な主体と連携して具体的な施策を展開する。
- ・次の3つを施策の柱として設定
  - I 結婚を応援する主体をつなぐ「結婚応援ネットワーク」づくり
  - II 結婚を応援する機会を増やす「結婚応援フィールド」づくり
  - III 結婚を応援する人を増やす「結婚応援マインド」づくり

### (1) 施策の推進方策

県内の独身者の現状（独身である理由を「適当な相手にまだめぐりあわない」「結婚をする必要性をまだ感じない」と答える方が多いこと、一方で将来的な結婚を希望される方が多いこと等）や固定的な性別役割分担意識が強い県民性を踏まえ、「結婚を希望されている方がその希望どおりに結婚ができる環境」の構築、「結婚や家族について知る機会」の確保に向けた施策を重点的に展開します。

また、「結婚の障害になる具体的な内容」として「結婚資金」や「職業や仕事上の問題」が多いことを踏まえ、企業・団体等との連携により、男女ともワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策を展開します。

これら施策の効果的・効率的な展開のため、県が中心となって市町村や企業・団体等県内の様々な主体との連携体制を構築・強化し、「計画」の施策方向である「結婚応援の気運醸成」及び「地域における結婚支援活動の推進」を図ります。

### (2) 施策の柱

1つ目の柱として、県内で結婚を応援する主体をつなぐ「結婚応援ネットワーク」づくりを行います。市町村、経済・労働関係団体を中心に、地域で結婚応援活動をされる団体や民間企業、大学等と広く連携できる体制構築に取り組みます。

2つ目の柱として、結婚を応援する機会を増やす「結婚応援フィールド」づくりを行います。出会いの場の創出・情報発信、結婚や家族について学ぶ・イメージする場の創出などに取り組みます。

3つ目の柱として、結婚を応援する人を増やす「結婚応援マインド」づくりを行います。特に企業等における結婚応援活動を促す取り組みと地域で結婚を応援する人材の養成などに取り組みます。

## 5 具体的なアクション

### I 「結婚応援ネットワーク」づくり

- ・結婚を応援する主体をつなぐため、「奈良県・市町村結婚応援連絡会議」や「奈良県・民間団体等結婚応援ネットワーク会議」の運営により、県と市町村、企業・民間団体、大学等との連携を行う。
- ・企業・民間団体や大学との連携について、今後、重点的に促進する。

#### (1) 県と市町村との連携

県と市町村との連携体制の推進として「奈良県・市町村結婚応援連絡会議」を運営します。

会議では、施策に関する情報共有や、婚活イベントの広報についての相互協力、イベントノウハウの共有などを図ります。

なお、市町村によって未婚化・晩婚化の状況が異なるため、地域の状況や会議における市町村の意見等を踏まえて取り組みを進めます。

#### (2) 県と企業・民間団体等との連携

県と民間団体等（経済・労働関係団体、奈良県こども・子育て応援県民会議委員、なら結婚応援団員）との連携体制の推進として、「奈良県・民間団体等結婚応援ネットワーク会議」を運営します。

行政の結婚応援の取り組みに関する情報共有、行政施策への意見反映、連携施策の検討・実施を行います。

### (3) 県と大学との連携

県内大学との連携により、若者向けのライフデザイン形成支援（学生向けライフデザインセミナーの実施など）を行います。

## II 「結婚応援フィールド」づくり

- ・結婚を応援する機会を増やすため、様々な主体による「共同イベントの実施」「県主催イベントの実施」「なら結婚応援団を核とした結婚応援の取り組みの充実」「幅広い情報発信」を行う。
- ・「共同イベントの実施」に際しては、「結婚応援ネットワーク」づくりによる様々な主体との連携により、県全体での気運醸成につながるイベントを展開。

### (1) 共同イベントの実施

県内での結婚応援気運の醸成、結婚応援に取り組んでいる様々な主体間での意識の共通化、取り組みの連携を図るため、市町村、企業・団体等と連携して共同イベント※を実施するとともに、取り組みを広くPRします。

※期間（夏や冬）を定めての婚活イベントの集中実施

時期（「家族の日」「家族の週間」）に応じたテーマを設定してのイベントや本県の歴史・文化資源を活用したイベント実施 など

### (2) 県主催イベントの実施

県全体での結婚応援の取り組み（県の「なら結婚応援団制度」、市町村の取り組み、企業や団体の取り組みなど）を広く周知し、結婚応援気運をさらに高めていくため、県主催の結婚応援イベント※を行います。

※取組紹介ブースの設置、結婚応援団員によるミニ婚活イベント、結婚応援セミナー等

### (3) 「なら結婚応援団」を核とした結婚応援の取り組みの充実

「なら結婚応援団員」と市町村や企業・団体等との連携によるイベントの実施、市町村における既存イベントにおける婚活イベントの実施などを県がコーディネートします。

婚活イベントを通じて、地域の魅力を知ってもらうなど、地域活性化にもつなげていきます。

特に、現在結婚応援の取り組みを実施している企業や団体等との連携により、地域全体での取り組みとして活動の幅を広げていきます。

#### (4) 幅広い情報発信

結婚を希望されている方や支援者に必要な情報をお届けするため、「なら結婚応援団員」や市町村、企業・団体等が行う結婚応援の取り組みを広く発信します。

平成29年7月から婚活イベントの情報を「LINE」で配信する取り組みを開始しました。これまでのメルマガによる配信も継続し、県公式フェイスブックやツイッター等のSNSも活用し、情報発信を強化します。

### Ⅲ 「結婚応援マインド」づくり

- ・結婚を応援する人を増やすため、「企業や団体等と連携した取り組み」「地域での結婚応援人材の養成」を行う。
- ・企業や団体等の結婚応援の取り組みを促進するため、「結婚応援セミナー」等を通じ、取り組みの意義や効果、具体的な取組事例について周知する。あわせて、個別相談支援、企業や団体間のコーディネートなどにより、実践活動を支援する。
- ・「地域での結婚応援人材の養成」にあたっては、市町村等の取り組みと連携を図り、効果的に実施する。

#### (1) 企業や団体等と連携した取り組み

企業や団体による結婚応援の取り組みを促進します。企業・団体による取組例として、自社の従業員向けの支援（結婚を希望する方に対する自治体等の結婚応援事業の情報提供、企業内での交流の機会の提供、複数企業

間・異業種間での若者向け研修会の開催など)と各地域におけるCSR活動と組み合わせた独身者向け交流の場の提供などがあります。

県では、こうした取り組みの意義・効果、具体的な事例などについて「企業・団体等向け結婚応援セミナー」や企業・団体等への個別訪問などにより周知するとともに、個別の相談支援、企業や団体間のコーディネートなど具体的な実践活動の支援を行います。

## (2) 地域における結婚応援人材の養成

地域で結婚を応援するボランティア人材を養成します。結婚を応援したいと考える方を対象に、セミナー開催や「なら結婚応援団」の活動事例紹介などを通じて、ボランティアとして地域で結婚応援の取り組みを行っていただけるよう支援します。

想定されるボランティア活動としては、「なら結婚応援団」実施イベントのサポート、地域の独身者への情報提供、企業・団体との連携による活動、自ら地域でグループを組織しての結婚応援事業の展開などがあります。

なお、これらの人材養成にあたっては、市町村におけるマリッジサポーターの育成活動との連携を図り、効率的・効果的に取り組みを進めます。

## 6 目標指標

指標種別	項目	目標値（平成 31 年度末）
成果指標※ 1 （アウトカム）	いずれは結婚しようと考えてる未婚者の割合 （18 歳～34 歳）	90%以上 （H25 年 72.5%）
	結婚の希望実現率※ 2	80% （H25 年 76.8%）
行動指標 （アウトプット）	県と県内様々な主体との 共同イベント実施数	8 回
	結婚や家族について知る セミナー等の開催数	10 回
	なら結婚応援団新規登録 団員数	20 団体

※1 「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」目標指標

※2 若者（18～34 歳）の結婚の希望と 5 年後（23～39 歳）の結婚の実績を対比